

施設名	遠登志橋								
所在地	愛媛県 新居浜市								
管理者等	新居浜市								
施設種類・分野	橋								
施設概要 (明治期との 関連含む)	遠登志橋は、明治38年に坑水路と人道の併用橋として架設された。ドイツのブルバツハ社製の鋼材製品で、鉄骨造、鋼製単アーチ橋、長さ48.26m、幅員2.4m、高さ23.2mで日本最古級の鋼アーチ橋である。構造は、2ヒンジのソリッドリブ・アーチ式。別子銅山閉山後は登山道の一部として利用されてきたが、対荷能力に欠けることが判明したため、平成5年、アーチ橋の直上に新しく吊り橋をかけ、現状保存を図っている。								
築造時期	明治後期		時期詳細	明治38年					
関連人物	鈴木馬左也(第3代目住友総理事)								
関連企業	住友金属鉱山(株)								
トピックス (特徴的エピソード)	当時、物資搬送の索道が整備される一方、端出場から東平へ向かう人道を整備する必要があった。また、第三通洞が完成したので、坑水をすべてここに集め、明治38年11月には国領川に流さないよう第三通洞から惣開の海岸まで総延長16kmの坑水路が完成した。明治期に建設された鋼製のアーチ橋で現存するのはこの遠登志だけと言われており、併せて明治期の環境対策として用いられた点において貴重である。								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	—	文化財(文化庁)	登録有形文化財(建造物)	近代化産業遺産(経産省)	○	世界遺産(ユネスコ)	—
その他 (関連資料、文献)	愛媛県近代化遺産総合調査報告書(愛媛県教育委員会文化財保護課 2013年)、新居浜の登録有形文化財(新居浜市広瀬歴史記念館平成21年)								
管理者等のHP(URL等)	新居浜市 http://www.city.niihama.lg.jp/								